

mono.ho file
株式会社松屋

事業計画名 地方の人手不足に負けるな!
ヒット菓子製造の生産性向上と労働環境改善



ヒット商品「ゆうひ」



包装機



包餡機

次なるヒット商品づくりへ、態勢は万全!

株式会社松屋は創業60年余りを数える阿寒町の老舗。銘菓「丹頭の鶴(あけのつる)」をはじめとする阿寒の風物をモチーフにした商品は、地元で愛されるだけでなく、地域の観光産業にも一役買ってきた。市町村合併で釧路市となってからはヒット商品「ゆうひ」を生み出したが、人気が高まり引き合いが増えるにつれ生産体制の強化が急務だった。本事業により包餡機と包装機を導入したところ、生産効率が1.7倍アップし、注文にも柔軟に対応できるようになるとともに、労働環境が改善したことで、将来的な労働力不足社会への対応にも一定の目処がついた形だ。また、製造における時短効果で、さらなる人気商品開発に取り組む態勢が整った。

釧路を代表するお菓子を作りたい

お菓子を通して釧路の "夕日"をアピール

"世界三大夕日"の一つとして、夕日を観光の売りにしている釧路市。そこにいち早く目をつけたのが松橋社長だった。お菓子を通して、道内はもちろん本州や海外にまで釧路の夕日の美しさをアピールしたい。色にこだわり、道産素材にこだわった人気商品「ゆうひ」には、そんな願いが込められている。地域を思う社長の熱意とアイデアから生まれる商品が、ホテルや道の駅など地元の観光業界で引っ張りだこなのも頷ける。現在は、地域の人にもより喜ばれるよう、季節商品の販売にも力を入れている。

地域を巻込んだ銘菓造りへの挑戦

先代の時代から阿寒では松屋、今では釧路の松屋と言われるほど、地域密着で取り組んできた同社。鶴、まりも、夕日、幣舞橋など、商品作りのモチーフも、徹底して地元の風物にこだわっている。また、地域とのつながりを大切にする同社らしく、コラボ商品にも積極的。「まりもなか」も地域の方々の集まりの中で誕生した。

現在、松橋社長が考えているのは、阿寒の農家の主婦が集まる団体「ベコット」とのコラボ。牛型のお菓子を作れないか、中に地元のチーズを入れたらどうかなど、アイデアは尽きないとのこと。釧路を代表し、ひいては北海道を代表するような銘菓造りへの挑戦は続く。



まつはし ふくたろう
代表取締役 **松橋 福太郎**

今、釧路のお菓子と言ってパッと名前が出てくるものって、実はないと思うんです。地元の人がおみやげで持っていった時に喜ばれるもの、観光に来た人が必ず買って帰りたいと思うもの、そういうものを作りたいというのが私の一番の夢です。必ずしもうちの会社じゃなくてもいい、地域の人みんなでアイデアを出し合って、盛り上げていきたいと考えています。

TOPIX

卵の次にくる「ザ・北海道」アイテムは!?

道東鶏卵の「たまごろうくん」とコラボした「焼きドーナツ」は、道東鶏卵の社長との立ち話から生まれた人気商品。これは焼き菓子だが、次は導入した包餡機を使った北海道らしいコラボ商品を作るべく、アイデアを温めている最中だ。



COMPANY DATA

株式会社松屋

TEL.0154-66-3947 FAX.0154-66-2316
http://matsuya-kushiro.com/

住 所 北海道釧路市阿寒町中央4丁目3-1
代表者名 松橋 福太郎
資本金 1,000万円
設 立 昭和48年
事業内容 食料品製造業